

# セアカゴケグモにご注意を!

## 1 セアカゴケグモに注意してください

セアカゴケグモはオーストラリア原産の外来種のクモで、メスは毒をもっており、咬まれると痛みや発熱が数時間から数日にわたって続き、時に脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などが数週間続くことがあります。

国内では、港湾地域やそれに隣接する地域で多く発見されており、物流や人の移動にともなって生息域が拡大しています。県内にも既に定着しているとみられており、注意が必要です。発見した場合は、咬まれないように注意して駆除をしてください。

## 2 セアカゴケグモの特徴

■メス	体長10～15mm、全体に暗褐色又は黒色。腹部背面には赤色の帯状の模様。毒を持っている。
■オス	体長2.5～3mm、白っぽい色。
■性格	基本的におとなしく攻撃的ではない。驚かされると死んだふりをする。
■生息場所	①日当たりがよく暖かい所、昆虫などのエサが豊富な所、適当な隙間がある所。 ②側溝の側面やふたの裏側 ③花壇周りの隙間、墓地の花立てや線香立ての隙間など

<注>体長とは、頭部から腹端部までの長さで、足は含みません。



(写真：セアカゴケグモ メス)

## 3 咬まれないために

- 絶対に素手で触らないでください。
  - 作業をする時は、ゴム手袋、くつなどを着用し、極力肌の露出は避けましょう。また、不用意に側溝などの隙間に手を入れないようにしてください。
- ※毒牙を持つのはメスで、0.7mmと短く、衣服の上からでは皮膚に達する可能性は低いと言われています。

## 4 駆除方法は

- くつで踏みつぶす。
  - 市販の殺虫剤を直接噴霧する。
  - 卵についてはバーナーで焼却する。巣は棒などで払う。
- ※一匹見つければ、周囲にも潜んでいる可能性がありますので、念入りに駆除してください。

## 5 咬まれた時の対処方法

- 症状** 局所の疼痛、熱感、痒感、紅斑、硬結、区域リンパ節の腫張が生じます。通常、数時間から数日で症状が軽減しますが、時に脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの全身症状が数週間継続することがあります。
- 治療** 患部を水でよく洗い流して、包帯などはせずに、氷等で患部を冷やし、病院（皮膚科又は内科）で治療を受けてください。

## 6 参考資料

- 群馬県ホームページ > 組織からさがす > 環境森林部 > 自然環境課 > 特定外来生物セアカゴケグモに注意してください <https://www.pref.gunma.jp/page/7040.html>
- 群馬県ホームページ > 組織からさがす > 環境森林部 > 自然環境課 > 群馬県生態系等被害防止外来種リスト <https://www.pref.gunma.jp/page/677435.html>
- 外来生物法ホームページ（環境省） <http://www.env.go.jp/nature/intro/>